



認定NPO法人テラ・ルネッサンス

平和・開発教育 アイデア集

～地雷の問題と子ども兵の問題を通して世界平和への関心を高めよう～



2015年3月
認定NPO法人テラ・ルネッサンス
インターン 植松智子

はじめに

教える人主導ではなく学ぶ人主体の授業を

この『平和・開発教育のアイディア集』は、学校の先生方や大学生、そして国際平和に関心のある方を対象に制作いたしました。この教材を読んだ方が、より多くの人々に世界の問題や国際平和について啓発できるように、さまざまな教授法をまとめました。

平和学習をする際に特に配慮すべきことがあります。それは、教える人がただ一方的に学習者に知識や情報を与える方法では、学習者の創造性を伸ばすことができず、受け身になってしまいます。そうではなく、教える人と学ぶ人がお互いに対話をし、そして問題解決のためにどうすべきかを考えさせるといふ、フレイレン・アプローチ（Freirean approach）をお勧めいたします。このフレイレン・アプローチは、学習者自らが問題は何かを見出し、その解決策を、ディスカッションなどを通して考えていく方法です。このアプローチにより、学習者主体の学びが可能となり、学習テーマをより深く理解できるようになるのです（Freire, 1996）。

こうした学習者主体の授業において、教える人は知識や情報を単に伝えてしまうのではなく、ファシリテーターとして、学習者が主体的に学べるようにディスカッションを促したり、アドバイスをしたりすることを心掛けてください。そして素晴らしい意見が出れば、すぐに褒めてあげましょう。そうすることで、彼らに自信がついてきます。それにより、学習者は能動的に授業に取り組むことができ、やる気を持って世の中の問題を身近な問題として一生懸命考えるようになります。

平和・開発教育で最終的に伝えるもの

発展途上国の問題を学ぶ中で、最終的に伝えるものは「国際平和の第一歩は『知ること』『関心を持つこと』」です。

世界の深刻な問題を学ぶと、「自分たちにできることは何だろう」という疑問に行きつきます。「何とかしたいけど、何をすればいいかわからない」という意見がでるかもしれません。「現実的に、自分には何もできない」という考えに至るかもしれません。

しかしそこで一言、「国際平和の第一歩は『知ること』『関心を持つこと』」だということを伝えてください。マザー・テレサの言葉に、「愛の反対は、憎しみではなく無感心」というものがあります。“無感心”が一番の問題です。関心を持ち、微力でも行動することが大切であると、学習者を励ましましょう。人は決して無力ではないのです。

最後に、この教材を通して多くの方々が世界の問題に関心を持ち、すべての生命が安心して生活できる社会の実現に一步でも近づけることを信じております。

植松智子

もくじ

はじめに.....	1
第1章 地雷の問題	3
1. フォトランゲージ.....	6
2. 地雷に関するクイズ.....	7
3. 地雷の付いたイス取りゲーム.....	9
4. カードを使って地雷除去の手順を考えよう.....	11
5. 地雷除去の大変さを理解しよう.....	13
6. プランニング：自分たちにできることを考えよう.....	14
この教材を使ってみよう！.....	18
1. 防護服・ヘルメット・金属探知機で地雷除去体験.....	18
2. 地雷除去の映像.....	18
学習指導案例その1（中学校：50分×3回）.....	19
第1次.....	19
第2次.....	20
第3次.....	21
学習指導案例その2（高校生・大学生：75～90分）.....	22
第2章 子ども兵の問題	23
1. スマホの原料を巡る争いについて考えよう： アンケート、クイズ、ロールプレイ.....	24
2. 子ども兵に関するクイズ&フォトランゲージ.....	29
3. ディベート：子ども兵は被害者か加害者か.....	31
4. ランキング：元子ども兵の社会復帰に必要なものとは.....	33
5. わたし×〇〇＝国際協力.....	36
参考文献.....	37
参考URL.....	37
参考授業資料.....	37
付録.....	38

第1章 地雷の問題

基礎知識

●地雷とは

地雷とは、地中や地表に置かれ、人や車両が近づいたり接触したりすることにより爆発する兵器である。軍事的には典型的な防御兵器として使用されている。陣地や要塞を守ることに他に、敵の侵攻を遅らせることや、敵を攻撃しやすいよう誘導し、追い込むなどの効果もある。

しかし、被害を受ける人や動物、物体が、地雷を踏んで起爆装置を作動させない限り爆発しない。つまり、近づいたり接触したりすれば、それが兵士であろうと民間人であろうと無差別に作動するものである。



●地雷の種類

地雷の種類は大きく分けて2種類存在し、1つは対戦車地雷（Anti-tank mines）、もう1つは対人地雷（Anti-personnel mines）である。

対戦車地雷とは、戦車の破壊を目的とした大型の地雷であり、5キログラム以上の火薬を含む。重さは数キログラム～十数キログラムと大型で、通常100キログラム以上の重量をかけないと爆発しないよう設計されている。

対人地雷は人間の殺傷を目的とした小型の地雷で、これはわずかな重量で爆発し、通常は約60キログラムの大人が一步踏み込んだときの圧力で起爆するように作られている。また、3～5キロほどの圧力で起爆する種類もあり、子どものような軽い体重で反応するものもある。

火薬の量は少なく、最も安いものは約3ドル（約300円）で製造・購入できる。したがって、高価な兵器を買うことができない途上国では、安価で手に入りやすい兵器な上、大量生産・輸出が可能なので世界各国に地雷が蔓延していった。その結果、世界ではこの対人地雷が大きな人道的問題を引き起こしている。

●対人地雷の使用目的

対人地雷は、火薬の威力は手足を吹き飛ばす程度であり、本来は戦略上紛争において敵対勢力の兵士を負傷させる事が目的なので、殺すことが目的ではない。なぜなら、もし負傷者が出たとき、周囲の仲間が救助をし、病院まで移送し、治療を受け、義肢をつけてリハビリを行う、というように長期にわたって人や経済に負担を与え、敵対勢力を弱めさせる。

しかし道路整備がされていない場所が多く、病院までの輸送だけで6時間以上は要し、その間に大量出血で亡くなる場合が多い。被害者の2人にひとりには命を落とすという。また、仲間が重症で

苦しんでいる姿を見ることで、戦闘意欲を失わせるという効果もある。以上のことから対人地雷の使用目的は、命を奪うよりも、手足だけをなくし、人を精神的に追い込み、さらに恐怖に陥れることである。

●地雷の3つの特殊性

対人地雷には、残存性、無差別性、残虐性の3つの特殊性がある。これらが、対人地雷と他の兵器の異なる点であり、人道的問題や政治的問題として地球規模で解決すべき問題として扱われている要因である。

1、残存性

対人地雷は一度埋設されると半永久的に機能を保つ。つまり 50 年から 100 年以上もの間ずっとその破壊力を保ち続けている。誰かが踏むまで地中で静かに待ち続けるということは、紛争が終わっても、兵士だけでなく子どもや女性などの民間人に大きな被害をもたらしている。

2、無差別性

対人地雷は相手を選ぶことができない。銃弾やミサイルのように攻撃する対象を定めて威力を発揮するものとは異なり、人が近づいて接触することによって爆発する。つまり被害者自らによって作動させられる兵器なので、一定の力が加われば誰であっても爆発する。戦時中に兵士が行き来した戦地に埋められた地雷は、本来なら兵士を狙うためであった。ところが戦争が終わって民間人が生活できるようになった途端、兵士ではなく民間人に、大人も子どもも誰彼構わず脅威をもたらしている。

3、残虐性

対人地雷の目的は、殺すことよりもケガを負わせることと、精神的な影響を与えることが目的である。そのケガの具合はひどく、手足をずたずたに引き裂かれて吹き飛ばされ、さらに飛び散った破片で傷つけられ、生き残るのは 2 人に 1 人とされている。また生き延びたとしても、手足の切断や失明などの重い障害が残る。

残存性

一度埋められると半永久的に保つ
誰かが踏むまで地中で静かに待ち続ける
↓
紛争が終わっても、
民間人に大きな被害を
引き起こす



Zzz...

無差別性

対人地雷は相手を選ばない
銃弾や爆弾とは異なり、
人が近づいたり接触すること
によって爆発する
つまり、
被害者自らによって
作動させられる兵器
一定の力が加われば
それが誰であっても爆発する



残虐性

殺すことよりも怪我をさせることが目的
手足をずたずたに引き裂かれ
吹き飛ばされ
飛び散った破片で傷つけられ
生き残るのは 2 人にひとり
生き延びたとしても、
手足の切断や失明などの重い障害が残る



●地雷原とは

地雷原とは地雷が埋まっている土地のことである。しかし言い換えれば、「地雷が埋まっているかもしれない土地」と言っても良い。地雷はどこに埋設されているのかわからないので、紛争のあった地域では、森や野原、田畑、校庭、道路のどこもが地雷原といえる。地雷があると推測して除去作業を慎重に行ったにも関わらず、1個も発見されなかった土地もある。



したがって地雷原というものは、人々が地雷原だと思いこんでいる、または疑わしい土地であり、その恐怖感によって人々をその土地から追い出してしまうのである。その結果、地雷原であるとされる土地では戦後の復興開発が思うように進まないのが現状だ。

●対人地雷の環境面での影響

対人地雷の影響は人々を負傷させるだけではない。地雷が埋まっている疑いのある土地が広がっているということは、人々の住環境や食環境にも大きな影響を与えることになる。住環境においては、まず危険な地雷原に人々が入ることも住むことも出来ないで、住民は住む場所を追いついてしまい、難民になる。他にも、地雷原では畑が使えない。すなわち畑が無ければ食べ物が作れない。ということは、食べる物が生産できないので貧困に陥ってしまう、という食環境の問題もある。

また、地雷が埋まっている危険があるので道路も整備することが出来ず、交通や通信が一向に発達できないという問題もある。その結果、人々の周りの環境が破壊されていくことになり、家族や集落といった特定の集団が破壊される。故に地雷問題は、環境問題のひとつであると言える。

●日本と地雷

日本も昔、地雷を製造していた。理由は、周りを海に囲まれた日本は、いつ何とき諸外国から攻めてこられても国を守れるように、対人地雷を所持しておく必要があるという立場をとっていた。しかし、第2次世界大戦からあとは一度も地雷を輸出したことはなく、輸出も全くしていない。1990年までは日本でたった一つの対人地雷メーカー（株）石川製作所で、自衛隊地雷全般を製造していた。けれども2003年2月までには日本国内で保有していた約100万個の地雷を全て処分した。最後の1個は滋賀県高島市新旭町で、小泉元首相の手で処分された。

地雷の学習のために、教える人が読んでほしいお勧めの本

柳瀬房子・葉祥明（1996）『地雷ではなく花をください』自由国民社

下井信弘（2002）『地雷撲滅を目指す技術—人道的地雷探知・除去の現状』森北出版

長有紀絵（1997）『地雷問題ハンドブック』自由国民社

上泰歩・ピースボート（2006）『走れ！やすほ にっぽん縦断地雷教室』国土社

1. フォトランゲージ

学習効果

地雷原や被害者の様子の写真や絵から、隠された意味や地雷の恐ろしさを自由に想像できます。興味・関心を引く問いかけをすることで、学習者が積極的に意見を出し合えるようになります。授業の導入としても効果的です。

対象学年：全学年

所要時間：3分

準備物：拡大した写真を表示できるもの。プロジェクター、モニターなど

例1) 地雷原について



発問

「これは崖の上からカンボジアを見降ろした景色です。きれいですよね～。実は、この景色には秘密があります。それは何でしょうか。」

ヒント「目には見えません」、「何かが隠されています」

◆自由に意見を交わさせます。少しずつヒントを出していき、学習者の興味を引きつけましょう。

答え

そこは地雷原。きれいな景色でも、実際は多くの人が地雷の被害に遭って命を落としている。

◆この答えを言った後、地雷に関する簡単なクイズで、地雷とは何かを学ぶ展開にスムーズに移行することができます。

例2) 対人地雷の被害者について



◆地雷の被害者の写真を見せて、地雷に遭ったきっかけなどを話し、被害者がどんな辛い思いをしたらどうかとゆっくり想像させましょう。

発問

「なぜ地雷原に入ってしまったのか」
「もし自分が片足を失ったらどう思うだろうか」

答え

地雷原近くの地域では、地雷の危険性を十分に理解していない人が多い。そして森にあるキノコなどの食材を得るために地雷原に入ってしまう人が多い。

2. 地雷に関するクイズ

学習効果

数を予想させることや、2～3択のクイズ、○×クイズなどは、特に普段あまり意見の言えない学習者も参加しやすいです。場を和ますことができる上、簡単なクイズを通して地雷に関する基礎知識を得ることができます。

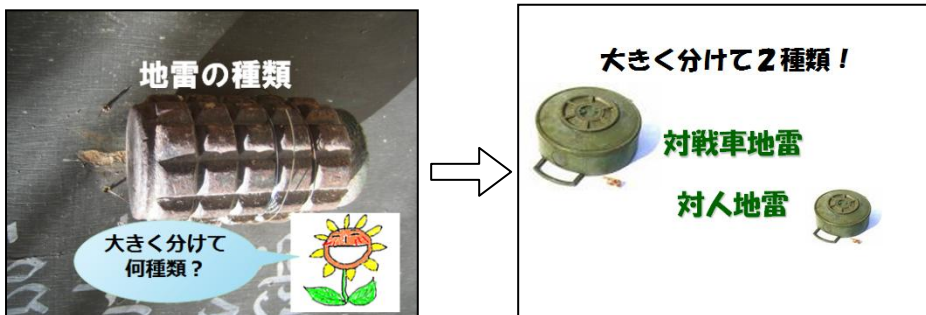
対象学年：全学年

所要時間：問題数により
10～15分

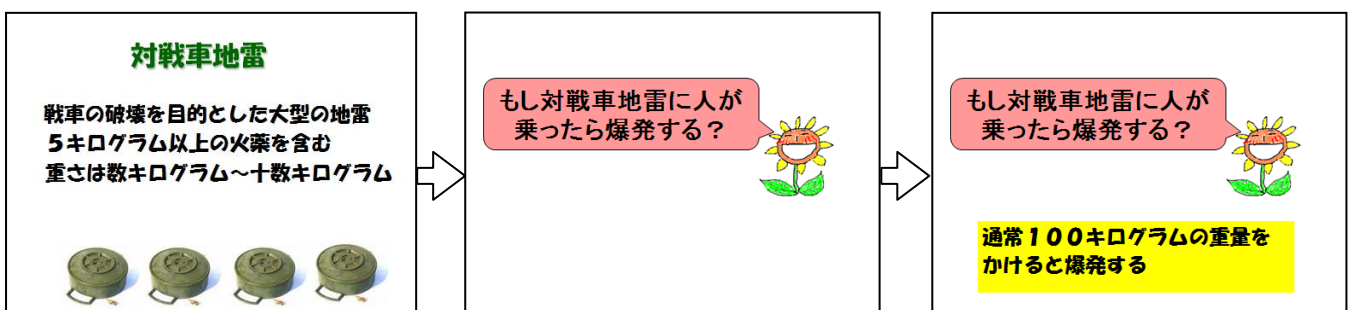
準備物：パワーポイント、
プロジェクター

◆学習者を惹きつけるために、パワーポイントのアニメーションを駆使して、わかりやすく楽しめるようにクイズを出していくことが大切です。選択肢のある問いには、どちらかの選択肢に挙手をさせると、学習者が積極的に参加できます。

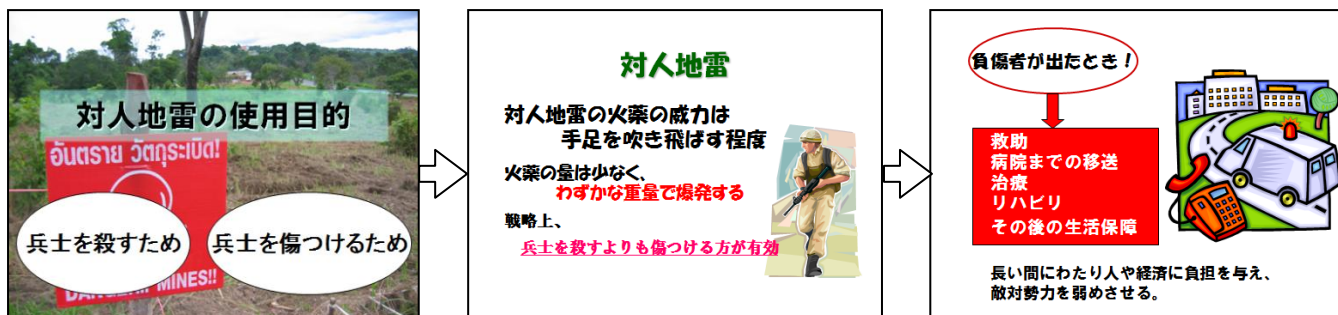
例題1：地雷の種類



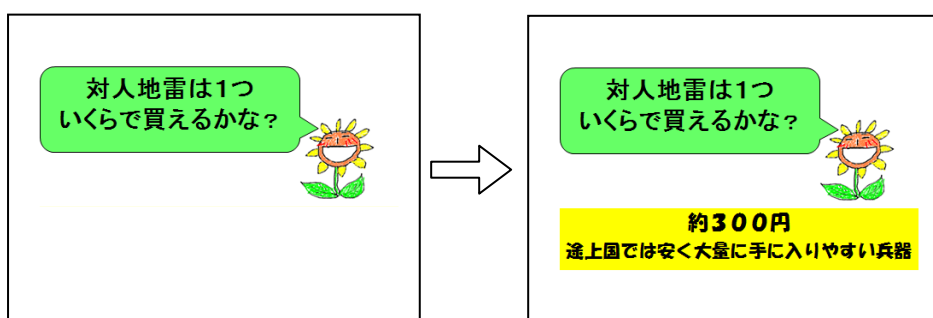
例題2：対戦車地雷



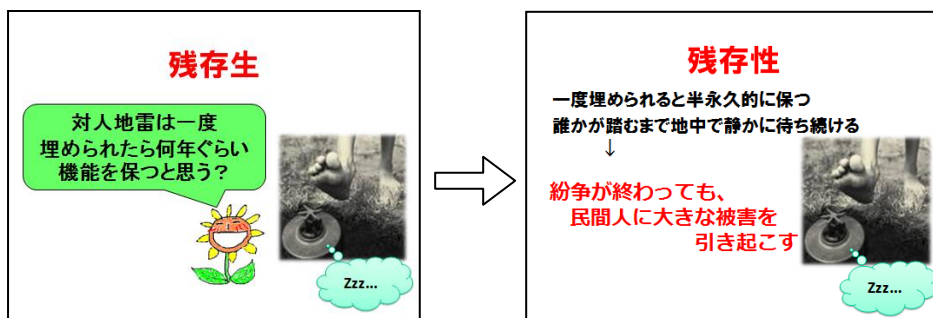
例題3：対人地雷の目的



例題4：対人地雷の価格について



例題5：対人地雷の残存性について



3. 地雷の付いたイス取りゲーム

学習効果

『地雷はどこにでも埋まっており、無差別に人を殺傷する』ということ、身を持って体験できます。みんな知っているこのゲームを曲つきで行えば、授業がとても盛り上がり、同時に悲惨さも学ぶことができます。

対象学年：全学年

所要時間：5分

準備物：イス4～5脚、地雷の模型、ガムテープ、イストリゲームの音楽

STEP1 手作り地雷の模型をつくろう！

準備物：手のひらサイズの円柱型の容器（ハンドクリームやジャムの空き容器など）

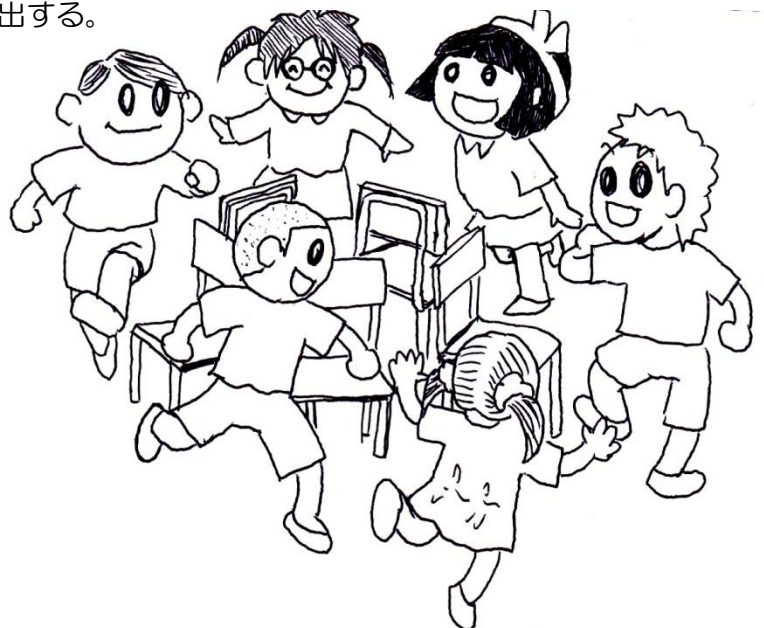


STEP2 授業が始まる前に、学習者には内緒で、ゲームで使うイスの下にガムテープで地雷の模型を付けておきます。



STEP3 イス取りゲームに参加する人を5～6名選出する。 (用意したイスより1人多い数)

STEP4 音楽に合わせてイス取りゲームを行う。 *オススメの音楽は『マイムマイム』です。



STEP5 途中で曲を止め、イスに座れなかった人が出てくる。（1つのイスを取り合うようなら、ジャンケンさせる）座れなかった人はおそらく悔しがりますが、「実はあなたは助かったのですよ」と声をかけると、キョトンとします。そしてイスに座れた人にイスの下を見るよう促す。そこで地雷を見つけた人は、地雷を踏んでしまったことになります。



このように、地雷原では地雷がどこにあるか分からず、無差別に人を傷つけていることを、身を持って理解させることができます。

◆机やイスを動かさない場合、学習者が部屋に入ってくる前に、イスをいくつか選んで地雷を下にあらかじめ付けておきます。授業の途中で「もしこの部屋が地雷原だったら」ということで全員にイスの下を確認させると、どのように地雷の無差別性を実感できます。
※大人対象のセミナーでも使えます。



◆もしグラウンドが使用できるならば、グラウンドに地雷の模型をあらかじめ埋めておき、学習者に探させるアクティビティも、おもしろいですね！

STEP6 対人地雷の無差別性の話から、対人地雷の3つの特殊性（特徴）の話にスムーズに展開することができます。（基礎知識のページ参照）

残存性

一度埋められると半永久的に保つ
誰かが踏むまで地中で静かに待ち続ける

↓
紛争が終わっても、
民間人に大きな被害を
引き起こす



Zzz...

無差別性

対人地雷は相手を選ばない
銃弾や爆弾とは異なり、
人が近づいたり接触すること
によって爆発する

つまり、
被害者自らによって
作動させられる兵器

一定の力が加われば
それが誰であっても爆発する



残酷性

殺すことよりも怪我をさせることが目的
手足をずたずたに引き裂かれ
吹き飛ばされ
飛び散った破片で傷つけられ
生き残るのは2人にひとり

生き延びたとしても、
手足の切断や失明などの重い障害が残る



4. カードを使って地雷除去の手順を考えよう

学習効果

『どうすれば安全に地雷を除去できるか』を具体的に考えることができます。除去現場を想像しながらカードの順を考えることを通して、グループで活発に相談し合うことができます。

対象学年：中学生以上

所要時間：

考察5分、発表5分

準備物：地雷の手順が書かれたカード、磁石



STEP 1

地雷原では、人が立ち入らないので草がたくさん生えており、足に紐が引っ掛かると爆発するものや、空から投下された爆弾などもあり、それらの危険をすべて回避しつつ地中の地雷を見つけ出さなければなりません。

学習者に必要な道具、除去の手順を推理させましょう。

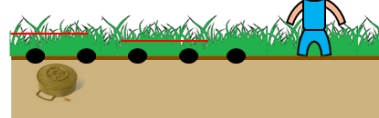
地雷除去がカンボジアの地雷原で行われています。

でもどうやって……？



地雷除去の方法を考えよう！
その1

道具は何がいるでしょうか？



STEP2 裏にマグネットのついた 6 枚のカード 1 セットを 4～6 人のグループに配布します。

ワナがないか確かめる※¹

草を刈る※²

異物が地表にないか確かめる※³

金属探知機を使う

棒を刺して地雷の場所を確かめる

シャベルで掘る

※¹ 地雷原には、草むらに張ってあるワイヤーまたは釣り糸に人の足が引っ掛かると起爆する地雷もあります。それをワナと称しています。

※² 草刈り機を使うと地雷が起爆する危険性があるため、ハサミで草を少しずつ切っていきます。

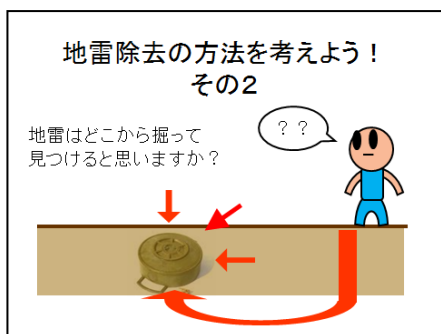
※³ 異物とは、空中から散布された対人地雷や、武器等の金属破片のことです。



▲グループでカードの順を考える



▲黒板に各グループの答えを貼る



◆地雷をどの角度から掘るか考えるのも重要です。

上から、斜めから、真横から、下からゴツソリ掘るのか学習者の予想を聞いてみましょう。なぜそう思うか理由を聞いてみてもいいですね。

STEP3 正解 VTR として、2 分ほどの地雷除去の動画を、解説を交えながら見せます。そして各グループが考えた手順の違いを比較します。

5. 地雷除去の大変さを理解しよう

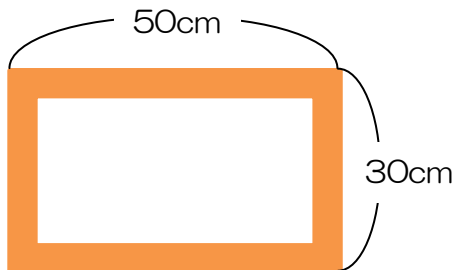
学習効果

実際に地雷を取り除くために、どれほど気の遠くなるような作業をしているのかを理解できます。また、およそ1㎡の地雷原を除去するのにかかるお金が、どのようにして除去現場で使われているかも理解できます。

対象学年：全学年

所要時間：5分

準備物：50cm×30cmの大きさの枠（画用紙）



左記のような、画用紙でできた枠をあらかじめ作成しておき、学習者に見せ、次のように問います。

発問

「この範囲にある地雷を除去するのにどのくらいの時間がかかるでしょうか。」

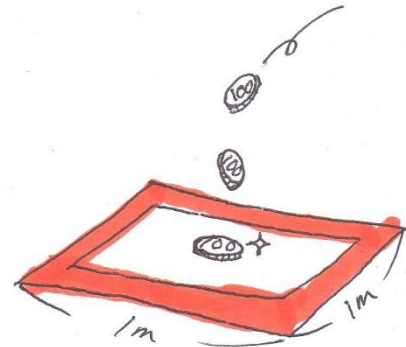
「実際に地面に置いてみると、30cm はたった一歩でまたげる歩幅の大きさです。」と言いながら、教える人がまたいで見せてもよいです。

これまでに地雷除去の手順などを学んでいれば、近い意見がすぐに出てくるかもしれません。

答え： およそ 20 分

発問

「1㎡の地雷原の地雷を除去するのにおよそ100円かかります。しかしこの100円、地雷原の上においても地雷が消えるわけではありません。さて、このお金を何に使えば地雷が除去できるでしょうか？」



◆この問いの目的は、「募金をすればすぐ除去できる」という安易な考えに至らないようにするためです。地雷除去とは、危険な中を途方もない労力と時間をかけて行うものです。カンボジアの暑い気候の中で、汗だくになって、自分の命を顧みずに働いている除去員の存在を考えさせることが大切です。

解答例) 除去員の給料、金属探知機、重機、防護服など

6. フランニング：自分たちにできることを考えよう

学習効果

地雷問題の実態や問題点を理解し、問題意識が高まったとき、「自分には何ができるのか」を考えることで、積極的に貢献しようという姿勢を養うことができます。このプランニングを通して、「自分たちにもできることがある」という自信をつけることにもつながります。

対象学年：中学生以上

所要時間：20分

準備物：ワークシート、
筆記用具、画用紙、ペン等

◆学習者が想像をふくらまして、活発に話し合えるよう、教える人はファシリテーターとして学習者をサポートします。

例1. ポスター制作（中学生）

自分たちにできることをグループで話し合い、ポスターにまとめて発表します。あらかじめテーマを各グループに提示すると、学習者には考えやすいです。

テーマの例：

- 効果的な地雷除去をする
- 被害者を支える
- 地雷問題を身近に伝える
- 地雷の危険性を教育する



2. ワークシート（高校・大学）

さまざまなワークシートを作って、1年後、5年後、10年後に地雷の被害が減少しているためには、何を達成すべきか、グループで話し合い、自分たちにできることを考えさせます。



何をしたらいいかわからなくて困っている場合は、次のページのような一覧を見せて、学習者を支援しましょう。

自分たちで事業を企画してみよう！できること一覧

企画事業を以下の選択肢から選びましょう。

もちろん、他にアイデアがあれば自由に考えていいですよ。

地雷犠牲者支援：地雷の被害にあってしまった人たちが、社会的・経済的に自立できるように支援

○救急医療支援：病院の増設

けが人が出たときの連絡方法と患者を運ぶ手段の確立

○義足・義手・リハビリテーションの提供

○障害者のための学校や職業訓練施設の建設 など

地雷回避教育：地雷の被害にあわないための教育

地雷を除去するには、気の遠くなるような長い時間が必要。

除去が完了するまでの間、そこに暮らす人たちが安全に暮らせるようにするために、日常生活で地雷に関してどのようなことに注意しなければならないのか、大人も子どもも教育が必要。

○学校建設

○出前授業 など

広報活動：日本のような先進国で地雷問題への関心を高めるための広報や教育活動

○テレビ番組（ドキュメンタリー番組など）

○CM製作

○写真展示

○新聞づくり など

地雷除去支援：地雷除去活動が安全で効果的に行えるようにサポートする。

○重機機械の開発

○高性能な金属探知機の開発

○除去員の育成・訓練 など

地雷問題を考える団体をつくらう！

書記：

職員：

企画事業

事業目標

10年後：

5年後：

1年後：

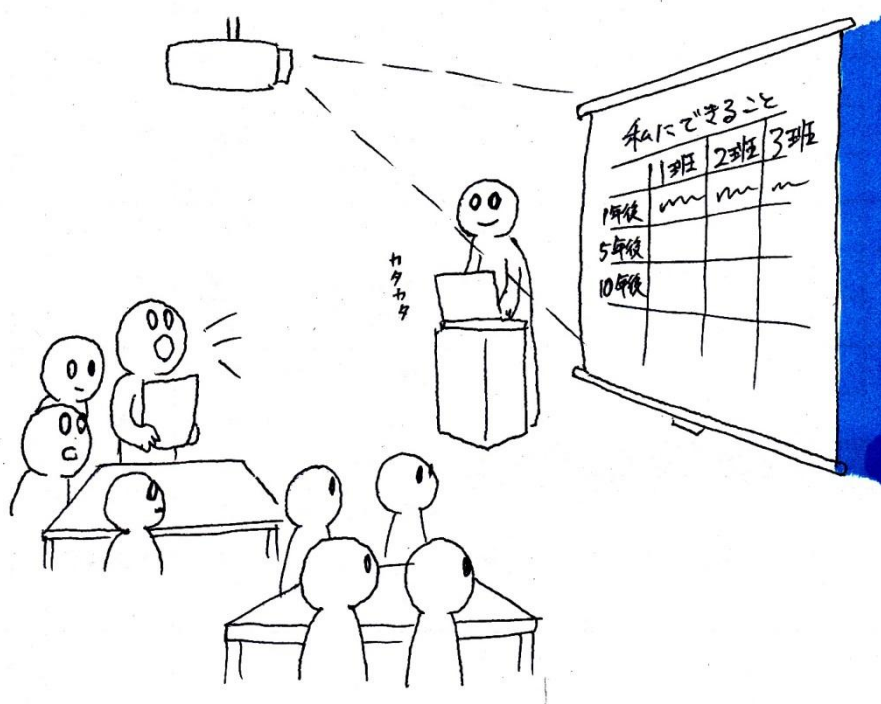
事業目標を実現するためにはどうすればいいか意見を出し合い、計画していきましょう。

◎グループで話し合った内容の効果的な共有方法

学習者が発表したものを効果的に全員に共有するためには、記録することが必要不可欠です。しかし黒板へ板書をするのは時間がかかります。

そこで、パソコンの画面をプロジェクターで表示できるようにして、ワードを使って学習者の意見を即座にタイプしていきます。あらかじめ表を作っておけば、グループごとの意見を簡潔にまとめられますし、学習者は他のグループの意見と比較したり、新たな発見をしたりすることもできます。

意見を可視化することによって、教室全体でそれぞれの意見を吟味でき、より有意義な話し合いができるようになります。



この教材を使ってみよう！

1. 防護服・ヘルメット・金属探知機で地雷除去体験

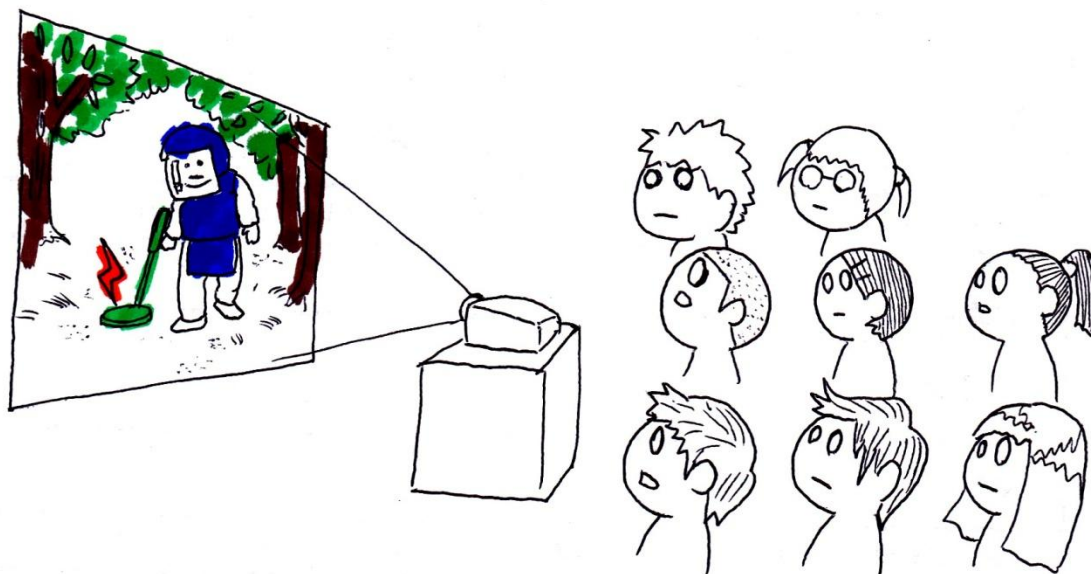
防護服やヘルメットの重さを体験することで、地雷除去員の大変さを理解することができます。また、代表者が実際に地雷除去のマネをしてみることで、教室が盛り上がります。

※防護服、ヘルメット、金属探知機（模型）はテラ・ルネッサンスで貸出できます。



2. 地雷除去の映像

地雷除去の手順を考えるワークのあとの答え合わせや、授業の総まとめとして映像を使用するのはとても効果的です。地雷原や地雷除去の様子をより鮮明に、しかも簡単に伝えられます。学習者はインパクトの大きさにくぎ付けになり、集中して学ぶことができます。



学習指導案例その1 (中学校：50分×3回)

第1次

1. 主題(単元、題材)

- ・地雷問題の現状を知ろう

2. 本時の目標

- ・地雷の機能・目的・3つの特徴について知る。
- ・地雷被害の実態について知る。
- ・被害者の立場になって考え、共感する。

3. 学 習 過 程

過程	学 習 内 容 ・ 活 動	評 価 ・ 配 慮 事 項
導入 10分	1. 自己紹介 2. フォト・ランゲージ1 崖から見下ろした写真を見て考える 地雷原であることを知る	*プロジェクター、スピーカー、 パワーポイントを準備する ■生徒をリラックスさせる *ボールを使用
展開1 35分	3. 地雷について知ろう！ ・ 対戦車型地雷と対人型地雷 ・ 使用目的 ・ 3つの特徴 ・ 被害状況 ・ 日本も製造国だった 5. フォトランゲージ2 義足の被害者の写真を見て考える 6. イスとりゲーム ・ ゲームで対人地雷の無差別性と 手足を吹き飛ばすだけの目的を学ぶ	*パワーポイントを使用(40枚) ■クイズ形式で発問していき、 選択肢を与えて挙手させる ■地雷の悲惨さ・怖さを知らせる
まとめ 5分	4. 感想記入	■A4サイズの無地の紙を配布・回収

第2次

1. 主題（単元、題材）

- ・世界は地雷問題に向き合っている

2. 本時の目標

- ・地雷問題を解決するためにはどんな方法があるのかを知る。
- ・日本の援助の大きな役割について知る。
- ・他国の問題を自分とつながりをもって考えられるようになる。

3. 学 習 過 程

過程	学 習 内 容 ・ 活 動	評 価 ・ 配 慮 事 項
導入 10 分	1. 前回の復習と感想振り返り	*パワーポイントを使用 ■友人の意見を聞き、多様な視点があることを理解させる ■授業者が全ての生徒の意見を肯定することで、自身の意見の大切さを理解させる
展開 35 分	世界は地雷問題に向き合っている！ 2. 地雷除去の方法を考えよう ランキング ・地雷除去の手順を考える ・各班の相談結果の順を黒板に貼る ・地雷除去の映像を見て答え合わせ 3.地雷除去の大変さを理解する ・途方もない時間と労力を使うこと ・防具を試着して体験する	■各班（6 人）に 6 つの手順のカードを配布する ■ヒントを与えながら机間巡視する * 授業者の撮影した映像を使用 ■50cm×30cm の枠を生徒に見せ、除去の大変さを説明する。
まとめ 5 分	5. 感想記入	A4 の無地の用紙を配布・回収

第3次

1. 主題（単元、題材）

自分たちにできることは何か考えよう！

2. 本時の目標

- ・自分の意見を表現し、他者に伝えようとする。
- ・今までの学習を通して、自分にできることは何か主体的に考える姿勢を育む。

3. 学 習 過 程

過程	学 習 内 容 ・ 活 動	評 価 ・ 配 慮 事 項
導入 10 分	1. 世間話 （日常から授業内容に関連付けられるような話） 2. 前回の復習、質問回答、感想の振り返り 生徒の感想から本時の授業内容へと導く	■生徒をリラックスさせる *パワーポイントを使用
展開 30 分	3. 自分たちにできることは何か考えよう！ 4 つのテーマから選んで考える 1) 効果的な地雷除去をする 2) 被害者を支える 3) 地雷問題を身近に伝える 4) 地雷の危険性を教育する グループディスカッションをし、 画用紙でポスターをつくる 4. 班ごとに発表	*各テーマの書いたフラッシュカードと関連写真を黒板に貼る ■各班代表がジャンケンし、勝った班から好きなテーマを選ばせる *色ペンと色画用紙を配る *あらかじめ作成したポスターの作成例を提示する。 ■机間支援をする ■黒板に発表し終えた班のポスターを貼る
まとめ 10 分	5. スライドショームービーを見る（5 分） 6. 感想記入 全 3 回分の授業の感想を書く	■感想用紙を配る

学習指導案例その2 (高校生・大学生：75～90分)

1. 主題(単元, 題材)

- ・様々な学習手法を用いながら、カンボジアの地雷問題の現状と除去方法を学ぶ

2. 本時の目標

- ・地雷という兵器の恐ろしさ・3つの特徴について知る
- ・地雷除去について知る
- ・自分たちにできることを考える

3. 学 習 過 程

過程	学 習 内 容 ・ 活 動	■授業者の動き *使用するもの
導入 5分	講師自己紹介 【フォトランゲージ】	■写真を通して自己紹介 *講師に関する写真・地雷原の写真
展開 60分	3. 地雷について知る(10分) ・対戦車型地雷と対人型地雷 ・使用目的 ・地雷埋設個数 ・誰が埋めたか 4. 地雷の3つの特徴を理解する(15分) (残存性・無差別性・残虐性) 【イス取りゲーム】 ・ゲームで地雷の無差別性と手足を吹き飛ばすだけの残虐性を学ぶ 5. 地雷除去の方法を知る(10分) ・地雷除去の掘る方向を考える ・地雷除去の映像を見て手順を学ぶ ・地雷探知機、ヘルメット、防具を試着 6. 地雷除去は途方もない時間と労力とお金を要することを理解する(5分) ・1㎡除去するのに約100円 ・お金だけ地雷原に置いてダメ 7. 自分たちにできることとは(20分) 【プランニング】 ・明日、半年後、1年後、自分たちに何ができるか考える ・グループごとに発表	*パワーポイントを使用 ■クイズ形式で発問していき、選択肢を与えて挙手させる ■学生を指名して前で実践させる(5～6人) *1つのイスの下に地雷の模型を見えないように設置しておく *BGM『マイムマイム』 *磁石付地雷の手順カード *地雷除去の映像 ■カードを並べて見せながら手順を解説する 発問 「50cm×30cmの広さを除去するのに、何分かかるでしょう。」 ■50cm×30cmの枠を見せ、除去の大変さを説明する ■グループ分けをする *ワークシートを使用 ■フードや黒板に分かりやすく発表内容をまとめ、全員に共有する。
まとめ 10分	8. 学びと気づきのふり返し・共有の時間	*感想用紙記入

第2章 子ども兵の問題

子ども兵の問題は、私たちが日頃使っている携帯電話やスマートフォンと密接に関わっています。これらの電子機器の部品の原料であるタンタル鉱石を巡る争奪戦により、子ども兵の問題が起こっています。武装勢力の意図、子ども兵の苦しみ、紛争に巻き込まれた人々の気持ちなど、**多角的な視点でこの問題を考えられるよう**に工夫をしましょう。

基礎知識

●子ども兵とは

男女を問わず、戦闘集団に関わる 18 歳未満の子どものこと（兵士だけでなく、物を運ぶ、料理をつくるなどの作業に関わる子どもたちも含む）。世界には、確認されているだけで、約 25 万人もの子ども兵が存在する。

●子ども兵の実際の数が把握されていない理由

子ども兵を雇った者たちがその存在を否定するため。最前線で戦い、戦死するケースが多いこと。そして、実際の年齢がわからない。

●子ども兵がなぜ増えるのか

1. 子どもが素直で、洗脳しやすい（参考：映画「ブラッド・ダイヤモンド」）
2. 子どもでも簡単に取り扱える小型武器が、世界中で安価に流通していること（小型武器の拡散）
3. 貧困のため、最低限の衣食住を求めて子どもたちが自ら志願して入隊する

▼元子ども兵が帰還後にも抱える現実

元子ども兵は**被害者**でもあり、**加害者**でもある！

⇒兵士として人を殺したり村を襲撃してきた元子ども兵は、周りの住民からの差別、いじめを受ける。勉強をしていないので知識も働く技術もない。元少女兵のシングルマザーは同時に子どもの面倒を見なければならない。そして悪い夢を見るなど心に深い傷を負っている。

1. スマホの原料を巡る争いについて考えよう： アンケート、クイズ、ロールプレイ

学習効果

クイズや話し合いを通して、日本にいる学習者にとって身近なケータイやスマホが、途上国での紛争や子ども兵の問題に繋がっている事を理解することができます。また、武装集団の思惑を考えることで、なぜ子どもを兵士にするのか理解を深めることができます。

対象学年： 中学生以上

所要時間：25 分

準備物： 太ペン、ワークシート、各種写真、解体してもよい携帯電話

【導入】「ケータイ・スマホ世論調査」

STEP1 個人ワーク

学習者に A4 サイズの用紙を 1 枚配布し、「私にとってケータイ/スマホとは〇〇です」の〇〇に当てはまるものを大きく書いてもらう。

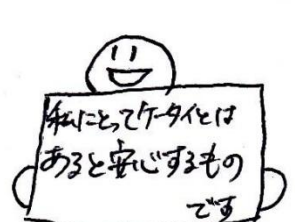
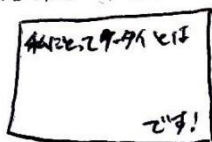


STEP2 グループワーク

4～6 人のグループに分かれて、それぞれの回答とその理由を発表し合う。

◆この時に自己紹介も併せて行くと、アイスブレイクにもなります。

回答用紙の例



STEP3 全体ワーク

全体で共有し、最も多い意見やあまのじゃくな意見にコメントを加える。

◆発表した意見は板書またはワードにタイプしてプロジェクターで表示すると、学習者自身で全体の傾向を分析できます。

【ケータイの話題で使えるアイスブレイク】

今まで所持したケータイやスマホの台数の順に学習者を一列に並べさせます。

しかし、声を出さずにジェスチャー等で行わせましょう。

一番多い人、少ない人に、ケータイを買い替えた理由なども聞いたりしてみましょう。

【展開1】ケータイクイズ

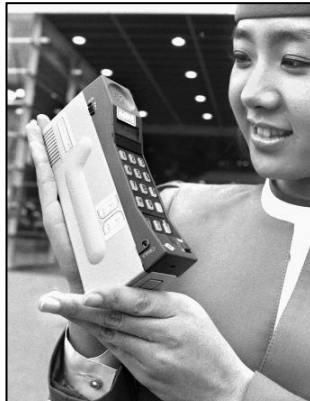
クイズで少しずつケータイの原料を巡る紛争まで導いていきましょう。

- ◆個人で答えを考えさせてもいいし、クイズ番組のように、グループで話し合いをしてから A4 サイズの回答用紙に記入して全体で共有する方法があります。

例題1) 昔のケータイは大きかったけれど、今は手のひらサイズに軽量化しました。さて、どうしてこんなことができるようになったのでしょうか？



http://farm.luna-jp.net/text/img/com100401_2s.jpg



<http://img.47news.jp/PN/201203/PN2012032901001335-.-.CI0003.jpg>



<http://appwoman.jp/wp-content/uploads/2013/10/8bf208aba67ea89b91e3123c8963f4be.jpg>

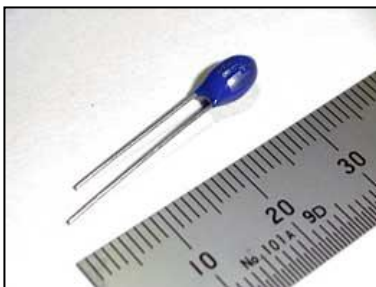
答え：すごい発明をしたから！…どんな発明？

〈解説〉 ◆携帯電話を解体して電子基板を見てもよい。

希少金属（レアメタル）であるコルタン鉱石から取れるタルタンで作られたタルタンコンデンサーが発明されました。コンデンサーは電気製品の中に流れる電気をきれいにしている部品です。

昔は、アルミニウムでコンデンサーがつくられていましたが、タルタンを使うことで、それより 60 分の 1 ほどの大きさでも高性能なコンデンサーを

作ることができました。そのおかげで、携帯電話やスマートフォンなどの持ち運びが便利な小型電気製品が作れるようになったのです。



←タンタルコンデンサー

<http://www.zea.jp/audio/mp3a/mp230.jpg>



↑ コルタン鉱石

http://3.bp.blogspot.com/-ukZqCHm_1xA/U5BqrHRDmYI/AAAAAAAAAC40/AHKuCoGT7GQ/s1600/COLTAN.jpg

これはメタルスライム



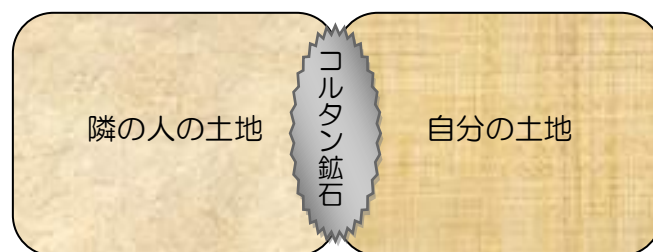
例題2) コルタン鉱石はどの地域に多く埋蔵されていると思いますか？

◆世界地図を見せて、地域を自由に想像させ、アフリカ地域の国に絞っていきましょう。



ケータイやスマホをみんな使うようになると、コルタン鉱石はもっともっと必要になってきます。しかもコルタン鉱石は希少な金属なので、高く売ることができます。

例題3) 下の図のように、自分の土地と隣の土地の間にコルタン鉱石が埋まっているとすれば、あなたはどのような行動をとりますか？



◆小中学生対象の場合は、選択肢を与えると考えやすいです。

選択肢の例) A. 奪い合い B. 話し合い C. じゃんけん

◆高校・大学生以上は、選択肢なしで自由に意見を出させても良いでしょう。

答え：現実の世界では、コルタン鉱石に加え、金やダイヤモンドなどの天然資源を巡る紛争が起きています。



【展開2】 ロールプレイ：武装集団の思惑

STEP1 個人ワーク

ワークシートを使って武装集団の視点から子ども兵が存在する原因を考えさせましょう。

コルタン鉱石の利権を得ようとする武装集団になったつもりで考えてみましょう。

1. 高く売れるコルタン鉱石を売って金もうけをしたい。コルタン鉱石が埋まっている土地を占領したいが、兵士の人数が不足しているので困っている。

さて、どうしようかなあ。

—どんな人物を兵士としてほしい？

解答例：

- ・ すぐ戦力になる
- ・ 攻撃することに抵抗がない
- ・ 思い通りに動く、言うことを聞く
- ・ 雇うのにお金がかからない
- ・ 強い
- ・ 若くて力のある人

※1の問いで「大人を兵士にしたい」という意見が多そうなら2の問いも聞いてみましょう。

2. 兵士を加入させたいと思っていたところ、ある村を見つけました。

そこには大人や子どもが住んでいます。

さて、兵士にするなら大人と子ども、どちらを選びますか？その理由も考えましょう

STEP2 全体共有

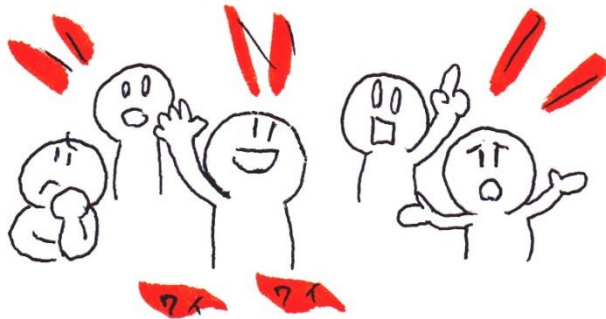
意見を全体で共有します。進行役は一人ひとりの意見を大切にし、分かりやすく板書をしましょう。多い意見などを特に強調するなどすると分かりやすいです。

答え：実際は、子どもを兵士にするために誘拐したりしています。

◆ここで「大人を選ぶ」と答えた学習者を**ぎょつ**とさせると、より内容に集中できるようになります。

深める発問 なぜ子どもを兵士にするのでしょうか。

- ◆子どもを兵士にすると、武装集団としてどんな有利な点があるのか、さらに自由に推測・発言させましょう。



解答例：

- ・言いなりになるから
- ・洗脳しやすい
- ・殺すのに抵抗がない
- ・教育して強くできる
- ・武器を使えそう
- ・長く使える
- ・扱いやすい
- ・善悪の区別がつかない

<解説>

子どもは**純粋で洗脳しやすく、小柄で機敏**だから

- ・地雷原の先頭を歩かされ、地雷除去装置として使われる
- ・最前列で行進させられ、弾よけとして使われる
- ・武器や食料などの重い荷物運びに使われる
- ・敵の油断を誘うことができる
- ・兵士の人数が不足しても**誘拐すること**ですぐに補充ができる

洗脳方法の例：

- ・麻薬をお茶に混ぜて飲ませる。
- ・麻薬を目の下に注射する。
- ・アルコールを飲ませる。
- ・親兄弟を殺す経験をさせる。

麻薬やアルコールで善悪の判断ができない状態にして、戦場に送りだされます。また、親兄弟を殺すことを経験したり、抵抗した仲間が殺されるのを目撃したりすることで、上官の命令に従うようになり、人を殺すことにもいとわなくなるようです。

2. 子ども兵に関するクイズ&フォトランゲージ

学習効果

子ども兵とは何か？子ども兵がどうして存在するのか？という疑問を推理・想像しながら事実を明らかにしていくことで、この問題に関する基礎知識を学び、興味・関心を抱かせることができます。

対象学年：全学年

所要時間：問題数により
10～15分

準備物：パワーポイント、
プロジェクター

◆教える人は、間違いの意見も大切にして、できるだけ学習者に発言のチャンスを与え、発言しやすい雰囲気を作っていきましょう。

例題1) 子ども兵とは？

- 何歳ぐらい？
- 性別は？

◆右の絵を見せて、子ども兵士とはどんな人達なのかを考えさせましょう。（フォトランゲージ）



答え：男女問わず 18 歳未満の子どもの兵士のこと
（左にいる銃を抱えた兵士は女の子）

例題2)

世界で最低でも何人の子ども兵士が
いるでしょうか？

- ①5千人
- ②4万人
- ③25万人

答え：③ 25万人

例題3)

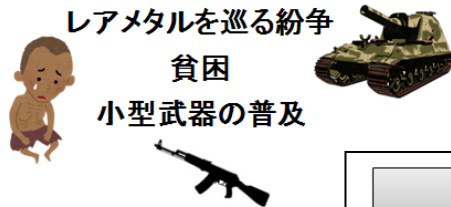
そのうち何%が少女兵でしょうか？

- ①1～10%
- ②11～20%
- ③30～40%

答え：③ 30～40%

例題3) 子ども兵が存在する原因は何でしょうか？

子ども兵が存在する原因は
何でしょうか？



貧困

就職先として
最低限の衣食住を求めて

自ら志願して入隊する



小型武器の普及

1人もしくは数人で運搬、使用可能な武器

1人で携帯・使用可能…自動式拳銃、ライフル銃

数名で運搬・使用可能…重機関銃

弾薬及び爆発物…ミサイル、対人・対戦車地雷



特に小型小銃の AK-47（カラシニコフ）
は 5kg ほどの重さで、メンテナンスも簡単
にできるため、子どもでも容易に扱うこと
ができます。

3. ディベート：子ども兵は被害者か加害者か

学習効果

子ども兵は被害者でもあり、加害者でもあります。学習者には子ども兵の立場と、子ども兵に攻められた村人の立場の双方の気持ちを考えさせることで、この問題について理解を深められます。

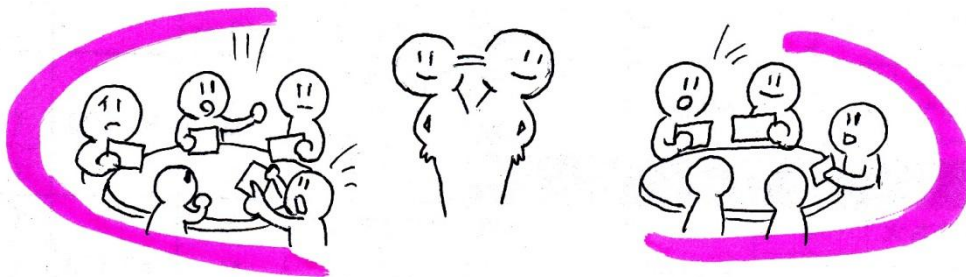
対象学年： 中学生以上

所要時間： 15～20 分

準備物： 元子ども兵と村人の立場を説明した資料

STEP1

『元子ども兵は被害者』と『元子ども兵は加害者』にグループ分けをし、代表者と書記を決める。各グループでそれぞれの立場について書かれた資料を参考にして、なぜ被害者といえるか、もしくは加害者といえるかを話し合います。（次項の資料の例を参考に）

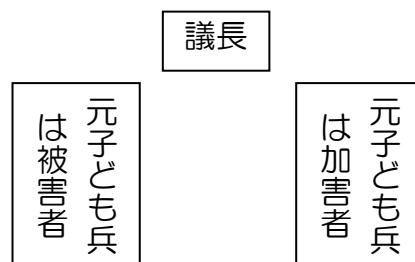


STEP2

各グループの意見がまとまって来たところで、グループ内のメンバーでどの意見を誰が述べるかを決めさせます。

STEP3

「元子ども兵は被害者」グループと「元子ども兵は加害者」グループが対面するように座らせ、教える人が議長としてディベートを開始します。議長は意見を発言しやすい雰囲気作りに努めましょう。このディベートを通して、子ども兵の葛藤を想像することが大切です。



資料の例：

元子ども兵は被害者（元子ども兵の証言）

僕は8歳の時に突然誘拐され、麻薬を飲まされ、わけもわからないまま銃を持って戦場へ行かされました。人を殺したくないのに、そうしないと僕が殺されてしまう状況でした。抵抗した友達は、僕の目の前で殺されました。

やっとの思いで軍から自分の村へ逃げ帰ってきたけど、自分の村の人からは、差別を受けています。また、学校にも行けなかったなので、読み書きができません。

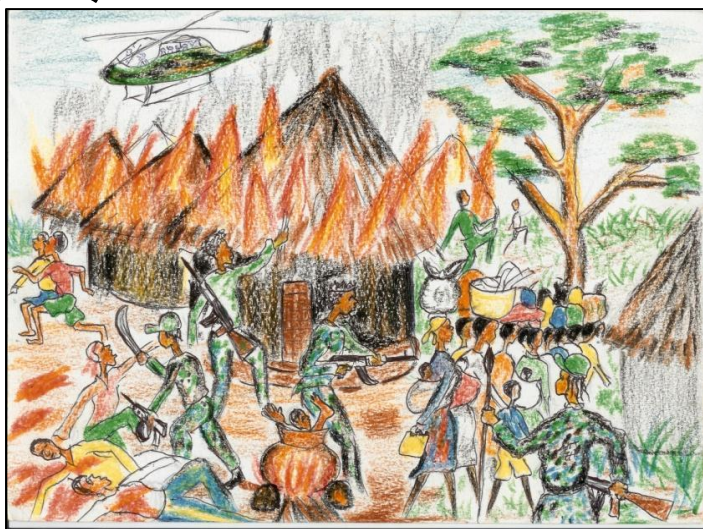
戦場で足を負傷した元子ども兵→



元子ども兵は加害者（村人の証言）

村に突然武装勢力がやってきて、抵抗する人が銃やナタで殺されていきました。家は放火され、女性と幼い子どもは誘拐されてしまいました。兵士の中には、昔近所にいた子どももいて、彼らに私たちの大切な家族が突然殺されました。

なぜ、何も悪いことをしていないのにこんなひどい目に遭わなければならないのでしょうか。だから、自分の村をむちゃくちゃにした子どもが帰って来た時は、どうしても受け入れることができません。



↑ 村が襲われた時の様子

4. ランキング：元子ども兵の社会復帰に必要なものとは

学習効果

元子ども兵が社会復帰するために必要な項目を、重要だと思うものから順に並べていく過程で、学習者どうして活発に意見交換をすることができます。個人で並び替えをしたあとに、他者と比較して議論することもできます。

対象学年： 中学生以上

所要時間：約 15 分

準備物：ランキングカード
※裏にマグネットをつけておくと黒板に貼れて便利

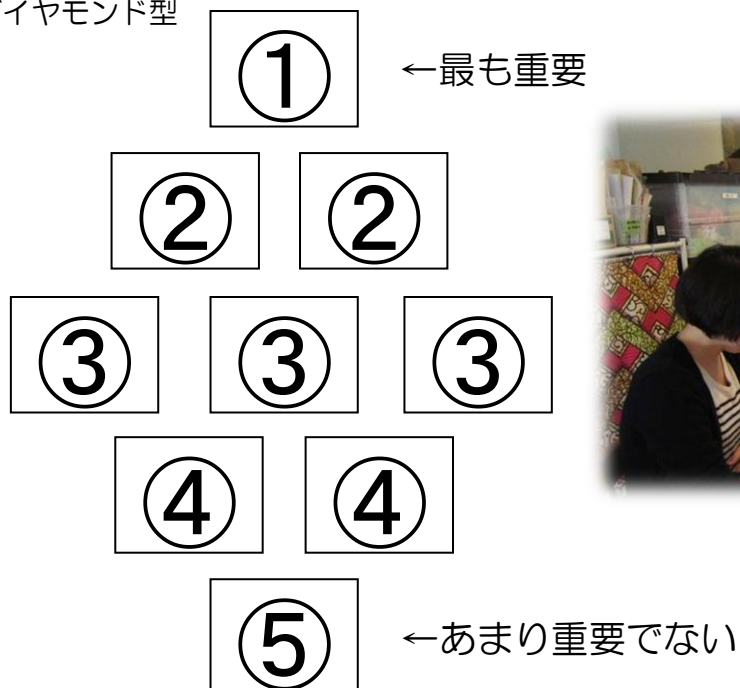
【2～4人のグループで行う場合】

STEP1 ランキングカードを各グループに配る。（P35 参照）

毎日ご飯が 食べられる	基礎教育を 受けられる	近所の人と 仲直りする	音楽 伝統ダンス	商売の勉強 (お金の運用)
住む場所が ある	心のケア	平和教育	職業訓練 (洋裁・木工大工・ 服飾・手工芸)	

STEP2 元子ども兵が社会復帰をするために重要だと思うものを、下図の順に並び替えさせる。
(5分)

ダイヤモンド型



▲ランキングの様子

STEP3 各グループに答えを聞き、黒板にカードを貼らせて、それぞれの意見や根拠を聞く。
(5分)

STEP4 さらに違った考え方がないか、参加者の自由な意見を求める。(5分)

STEP5 必要に応じて、議論の中で出された大事なポイントを確認していく。

〈補足説明〉

音楽と伝統ダンス…社会復帰支援プログラムの中でも一番人気のある授業です。元子ども兵は幼いころに誘拐され戦わされてきたため、自分の民族のことをあまり知りません。伝統ダンスを覚えることは、自分のアイデンティティを取り戻すことにもつながります。

(日本でも盆踊り、ソーラン節、阿波踊りなど、伝統的な踊りがありますね。)

基礎教育…元子ども兵は、自分の名前すら書けない方もいます。文字の読み書きができないことで、周りにだまされてしまうこともあります。

職業訓練…多くの元子ども兵は幼いころに誘拐されたので、働く術を知りません。

【進行役の注意】

1. 正解（模範解答）はない

「正解はないですよ」ということを参加者に伝え、自由に自分なりの答えを見つけてもらうことが大切です。

2. 選択肢にはプラスとマイナスがある

同じ選択肢でも、視点や基準の置き方によって、良く思えたり悪く思えたりします。参加者の意見を引き出しながら、その点を確認する必要があります。

3. 他の選択肢の可能性

与えられた選択肢のほかにも、違った選択肢があるかも知れません。その可能性について話し合ってみることも大切です。

(出典：開発教育協会 <http://www.dear.or.jp/activity/menu03.html>)

ランキングカード 切り取ってお使いください。

毎日ご飯が 食べられる	基礎教育を 受けられる	近所の人と 仲直りする
音楽 伝統ダンス	商売の勉強 (いくらで仕入れて いくらで販売するか)	住む場所が ある
心のケア 眠れない日もあれば 急に苦しくなることも…	平和教育	職業訓練 (洋裁・木工大工・ 服飾デザイン・手工芸)

5. わたし×〇〇＝国際協力

学習効果

国際協力の方法は無限大であり、自分の得意なことや好きな事をつなげて行うこともできます。学習者に自由な発想で自分にできることを考えさせることで、素晴らしいアイディアが生まれるかもしれません。

対象学年： 中学生以上

所要時間： 20 分

準備物：ワークシート

ワークシートの例

STEP1

学習者の特技や好きな事を考えさせる。

STEP2

特技や好きな事と国際協力をつなげて想像させる。

STEP3

アイディアが行き詰ったら、周りの友達に相談してみる。

STEP4

似たようなアイディアでグループを作り、更に具体的に考えさせる。

STEP5

全体で発表し合う。

わたし×〇〇＝国際協力

名前_____

1. あなたの特技や好きなことは何ですか？

ひと声ポイント

いろいろな角度から考えてみましょう！
サッカーや野球なども固有名詞だけでなく、
ごはんを食べるのが好き、
友だちと話すのが好き、
絵をかくのが好き…など
多様な特技・好きなことを出してみましょう。

2. 次の下線部に、1 で書いたものを当てはめてみて、
あなたにできる事を想像してみましょう。

わたし×_____＝国際協力

友だちのアイディアをメモ！

参考文献

- 植松智子（2010）『地雷問題を通して国際平和への関心を高める学習構想と実践』滋賀大学教育学部卒業論文
- 甲斐崎博史（2013）『クラス全員がひとつになる 学級ゲーム&アクティビティ 100』 株式会社夏目社
- 吉田里織（2007）『ケータイの一生』 特定非営利活動法人 開発教育協会
- Paul Freire（1996）『Pedagogy of the oppressed』（迫害された人々のための教授法）Penguin

参考 URL

- 特定非営利活動法人 開発教育協会/DEAR <http://www.dear.or.jp/index.html>
2015/02/24 閲覧

参考授業資料

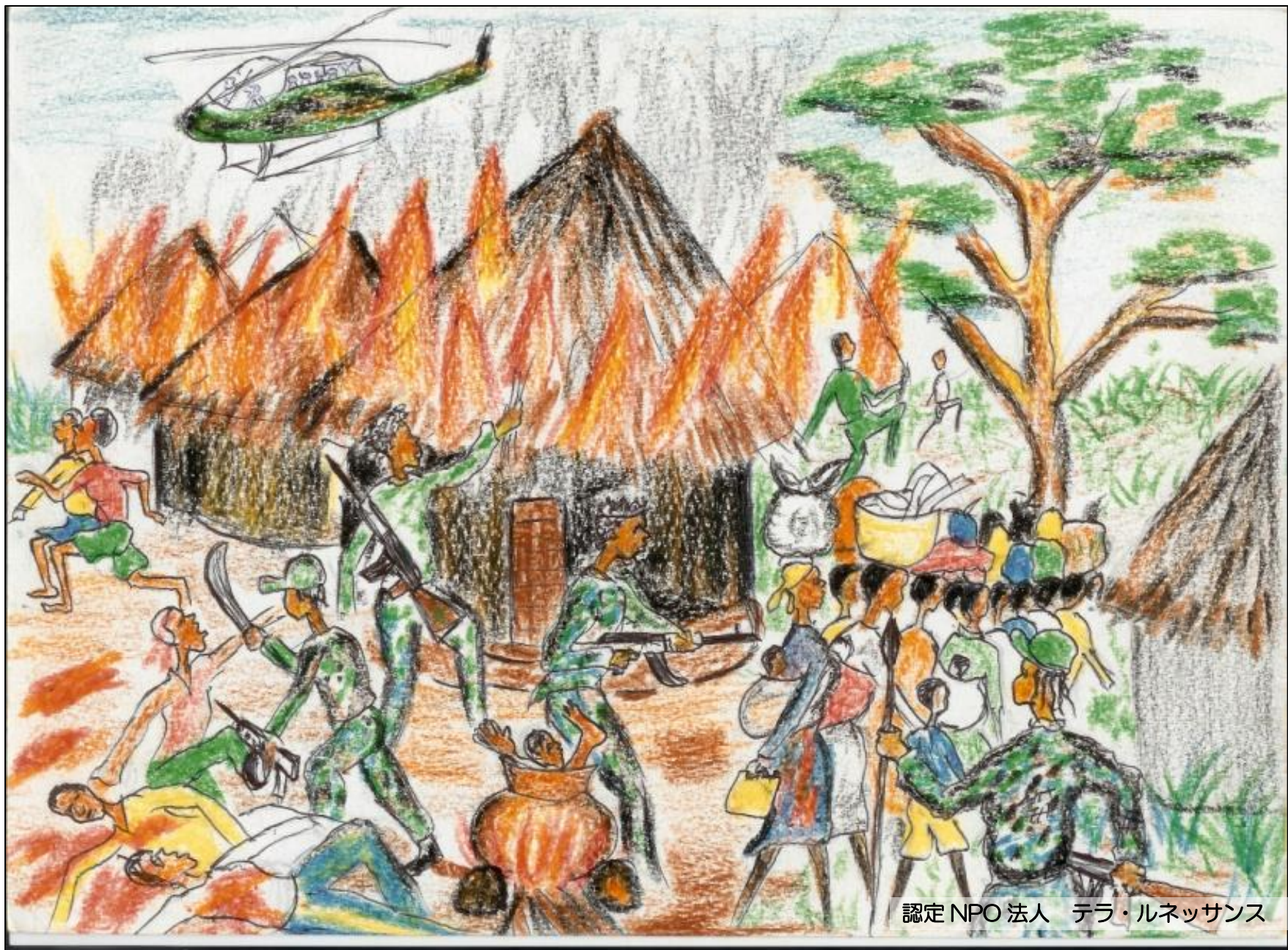
- 植松智子、北詩織（2014）『大学生のあなたに知ってほしい世界の問題』
- 栗田佳典（2014）『平和への一歩 ～ウガンダの子ども兵から教わったこと』
- 内藤千賀、延岡由規（2014）『子ども兵と私たちの消費行動』

付録



認定 NPO 法人 テラ・ルネッサンス





認定NPO法人 テラ・ルネッサンス